

# 事業評価報告書

(こうち男女共同参画センター 令和2年度指定管理)

項目	評価できる取組等	改善すべき課題
I 適正な管理運営の確保に関する事項	<ul style="list-style-type: none"> <li>・設置目的に沿い、公益的な視点から管理運営ができており、利用者のニーズを反映する形でWi-Fi環境が整備されている。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・コロナ禍の職員研修においては、オンラインでの開催、参加することが望ましい。</li> </ul>
II 施設利用の促進に関する事項	<ul style="list-style-type: none"> <li>・アンケート調査等の実施から得られたニーズに応えるために、利用者の利便性を高めるWi-Fiなどのシステムが導入され利用し易くなっている。</li> <li>・大学生との協働により更なる施設の利用促進や男女共同参画の推進が図られている。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・男女共同参画の理念普及・教育のために、できるだけ若い世代から触れて理解しやすいような事業を多く取り入れてほしい。</li> </ul>
III 男女共同参画推進のための事業展開に関する事項	<ul style="list-style-type: none"> <li>・男性対象講座では、参加者も多くなっていることに加え、満足度も高い。</li> <li>・オンラインを利用し、講座をうまく展開している。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・事業の広報活動にも力を入れ、多くの人に参加してもらえる努力をし、その上で、より特色ある事業展開をお願いしたい。</li> <li>・男女だけで充分なのか男女という枠組に限らず、LGBTsを含めた事業展開においてしっかり検討し、事業を図っていただきたい。</li> </ul>
IV 指定管理期間内での達成目標に関する事項	<ul style="list-style-type: none"> <li>・コロナ禍により実施できなかった事業がある中で実施した事業では、参加者満足度で高い評価を得ている。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・withコロナでの目標を考えて取り組んでいただきたい。(afterコロナでの次のステップでの目標達成)</li> </ul>
V 管理代行料に関する事項	<ul style="list-style-type: none"> <li>・赤字の縮減、経費の削減等、精一杯努力している。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・コロナ感染症拡大が続く中で、適切な予算取りと予算執行が必要であると共に、収入増となるような取組の働きかけを行っていただきたい。</li> </ul>
総合評価	<ul style="list-style-type: none"> <li>・概ね適切な管理運営ができています。</li> <li>・コロナ禍の中で感染予防対策をしながら努力している。一方で長引くコロナに対して打開策、事業展開が物足りない。コロナに対抗するイメージをもった事業展開を希望する。</li> <li>・増加する相談のニーズに対して、Wi-Fi環境の整備や相談員の勤務日数を増やして対応するなど努力している。</li> <li>・事業がマンネリ化しているので魅力的な工夫のある事業の実施を期待する。</li> </ul>	

- 【評価の目安】 A: 事業計画書の内容や目標を上回る成果があり、優れた管理運営が行われたもの  
 B: おおむね事業計画書の内容どおりの成果があり、適正な管理が行われたもの  
 C: 事業計画書の内容や目標を下回る項目があり、さらなる工夫・努力が必要なもの  
 D: 管理運営が適切に行われたとは認められず、大いに改善を要するもの

## 業務の改善についての意見

直ちに改善を求める事項	<ul style="list-style-type: none"> <li>・収入増となる企画や事業の実施、経費を抑える等して利用料収入の減に対する対応を希望する。</li> <li>・若い世代への周知と魅力的な情報発信、創意工夫を求める。</li> <li>・コロナ禍でないとできないオンラインの工夫や活動を浸透させる取組を検討してほしい。</li> </ul>
今後、充実に取り組むべき事項	<ul style="list-style-type: none"> <li>・労働関係機関との連携によるセクハラ・パワハラ防止講座、企業への研修の充実。</li> <li>・感染力の強いコロナウイルスへのしっかりとした対応に取り組んでほしい。</li> <li>・SNSでの魅力的な情報発信の仕方、フォロワーの増加に繋がる広報活動の努力をしてほしい。</li> </ul>